

教科目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1 学期 主な学習内容（24 時間）	2 学期 主な学習内容（28 時間）	3 学期 主な学習内容（18 時間）
[技術分野] ●生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ●エネルギー変換の技術による問題解決 ・これまでの学習を踏まえた統合的な課題（スピーカーの製作） [家庭分野] ●これからの家族と地域 ・家族との関わり ・家族や地域の高齢者との関わり ・地域での協働を目指して ・家族・家庭と地域 ●幼児の生活と家族 ・自分の成長を振り返る ・自分の幼児期を振り返る	[技術分野] ●エネルギー変換の技術による問題解決 ・これまでの学習を踏まえた統合的な課題（スピーカーの製作） [家庭分野] ●幼児の生活と家族 ・幼児の体の発達、幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び、幼児との関わり方 ・子どもにとっての家族 ●これからの私と家族 ・中学生にとっての家族 ・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活	[技術分野] ●エネルギー変換の技術による問題解決 ・これまでの学習を踏まえた統合的な課題（スピーカーの製作） ●これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方 [家庭分野] ●消費生活と環境 ・持続可能な社会の構築に向けて

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率 100%で統一する。）

	評価の観点（1 学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ね B 評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。 ・問題解決に必要な知識を身に付けている。	[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・授業で行う実習課題（機械模型の製作、幼児の生活や遊びに必要な物の製作）	適切な製作について、作品は A、B、C で評価する。 A：図面通り正確に製作できた箇所が 80%以上である。 B：図面通り正確に製作できた箇所が 50%以上である。 C：図面通り正確に製作できた箇所が 50%未満である。 家族・家庭生活について、レポートは A、B、C で評価する。 A：家族、幼児、地域の生活の問題解決に必要な知識を正確に身に付けている。 B：家族、幼児、地域の生活の問題解決に必要な知識を身につけている。 C：家族、幼児、地域の生活の問題解決に必要な知識を身につけていない。
II 思考・判断・表現	・設計を具体化できる。 ・幼児とのよりよい関わり方について考えている。	[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・授業で行う実習課題（レポート、授業の振り返りの記録、図面等）	スピーカの設計の具体化についてレポートは A、B、C で評価する。 A：目的に対して適切な機構を選択し、その運用について実現可能な方法を考え、レポートで正確に表現している。 B：機構の運用について考え、レポートで表現している。 C：機構の運用について考えていない、またはレポートで表現できていない。 幼児との関わり方について、レポートは A、B、C で評価する。 A：幼児とのよりよい関わり方について考え、レポートによって相手に正確に伝えている。 B：幼児との関わり方について考え、レポートによって相手に伝えている。 C：幼児との関わり方について考えていない、またはレポートによって相手に伝えることができていない。
III 主体的に学習に取り組む態度	・問題を見いだして課題を設定し、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えようとしている。 ・幼児の生活の中から問題を見いだしてよりよい生活を考え、実践しようとしている。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・授業で行う実習課題への取り組み状況（授業観察、実習課題等の状況、授業の振り返りの記録）	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 A：授業の振り返りに、課題への取り組みの中で自ら見いだした問題点と、考えた有効な解決方法を記録している。さらに、問題が解決するまでその方法で継続的に粘り強く取り組んでいる。 B：授業の振り返りに、課題への取り組みの中で自ら見いだした問題点と、考えた解決方法を記録し、その方法で課題に取り組んでいる。 C：問題点があるにも関わらず記録していない、解決方法を考えていない、または問題解決に向けての取り組みをしていない。